

環境安全工学科

テーマ:21 世紀のエネルギー事情と環境

資格:教授

氏名:山崎 博司

キーワード:エネルギー, 環境, 地球温暖化, 化石燃料, 京都議定書

授業内容:

20 世紀の文明の発達は膨大なエネルギー消費によって成立してきた。その背景には石油に代表される化石燃料の存在がある。しかしながら、その発展とは裏腹に大気汚染、水質汚濁をはじめとする公害問題などが発生した。人類は公害問題に対して様々な取り組みを行ってきたが、21 世紀に入り、地球の気候変動という新たな局面を迎えることとなった。ここでは、どうして化石燃料がよかったのか、その特徴と利点、公害問題とその対処法など、20 世紀における技術発達とその背景、取り組みを解説する。そのうえで、近年問題となっている地球温暖化に代表される気候変動問題を取り上げて、環境とエネルギーの関係を講義するとともに、京都議定書に代表される取組などを示しながら、21 世紀の世界のエネルギー事情を講究する。

備考:特になし